

# NetumScan

ワイヤレスBluetooth2Dバーコードスキャナー

2D画像スキャナー

Windows XP、Win7 / 8/10、MACなどに対応しています。

## ファームウェアバージョン

以下のコマンドバーコードを読んで、スキャナーのファームウェアバージョンを確認してください。



## バーコードプログラミング

バーコードスキャナーは、最も一般的な端末および通信設定用に工場プログラムされています。これらの設定を変更する必要がある場合、プログラミングはこのガイドのバーコードをスキャンすることによって実行されます。オプションの横のアスタリスク (\*) は、デフォルト設定を示します。

ヒント：多くのコマンドバーコードは、特定の接続モードのスキャナーでのみ機能します。各表のヘッダ一行に示されているように、ブルートゥースまたは 2.4Ghz ワイヤレスモード。

## 工場出荷時のデフォルトに戻す

次のバーコードを1つずつスキャンして、スキャナーを工場出荷時のデフォルトに戻します。**(4つのステップが含まれている)**

1.



2.



3.



4.



## 接続方法

### USB ケーブル経由での作業

スタート:

- ①USB ケーブルを介してスキャナーをデバイスに接続します。
- ②US キーボードを使用する場合は、プラグアンドプレイです。他のタイプのキーボードを使用する場合は、使用する前に「キーボード言語」を参照してキーボード言語を設定してください。
- ③データを表示したい場所にカーソルを置くと、スキャンを開始できます。

### 2.4G レシーバー経由での作業

スタート:

- ①「RF2.4Ghz ワイヤレス送信」のコマンドバーコードをスキャンします。
- ②コンピュータに USB レシーバーを接続します。
- ③US キーボードを使用する場合は、プラグアンドプレイです。他のタイプのキーボードを使用する場合は、使用する前に「キーボード言語」を参照してキーボード言語を設定してください。
- ④データを表示したい場所にカーソルを置くと、スキャンを開始できます。



### Bluetooth 経由での作業

スタート:

- ①「Bluetooth 経由での作業」のコマンドバーコードをスキャンします。
- ②Bluetooth をペアリングします。「Bluetooth ペアリング」ページ 3 を参照してください。
- ③キーボード言語を設定します。US キーボードデフォルトでは、他のタイプのキーボードを使用する場合は、使用する前にキーボード言語を構成してください。
- ④データを表示したい場所にカーソルを置くと、スキャンを開始できます。



接続モード:

### 有線接続

#### USB HID-KBW

デフォルトでは、スキャナーはキーボードデバイスとして HID モードになっています。プラグアンドプレイベースで動作し、ドライバーは必要ありません。



\*キーボードとしての USB ケーブル (HID)

### USBCOM ポートエミュレーション

USB 接続を介してスキャナーをホストに接続する場合、USB COM ポートエミュレーション機能により、ホストはシリアルポートと同じ方法でデータを受信できます。



仮想COMとしてのUSBケーブル

注: ワイヤードとワイヤレスの接続方法は自動的に選択され、ワイヤードの方法が優先されます。

### RF ワイヤレス接続。

#### \*RF ドングル HID-KBW

デフォルトでは、スキャナーはキーボードデバイスとして HID モードになっています。プラグアンドプレイベースで動作し、ドライバーは必要ありません。



\*RFドングルキーボード(HID)

#### 仮想 RF ドングル COM

RF ドングルをホストに接続すると、USB COM ポートエミュレーション機能により、ホストはシリアルポートと同じようにデータを受信できます。



仮想 RF ドングル COM

### ブルートゥース接続

#### ベーシックモード (HID) (デフォルト)

スキャナーをヒューマンインターフェイスデバイス (HID) モードに構成します。スキャナーは、他のブルートゥースデバイスのキーボードとして検出可能になります。



\*ベーシックモード(HID)

## ベーシックモード機能:

- ・ソフトウェアのインストールは必要ありません
- ・ほとんどのデバイスに接続します
- ・スキャナーはキーボードのようなホストデバイスと相互作用します

## ベーシックモード（HID）でブルートゥースをペアリングする方法は??

### Android: ベーシックモードで Android デバイスを接続します (HID)

- 1.スキャナーの電源を入れます。LED ライトが点滅します。
- 2.ホームにタッチ|メニュー|設定|ワイヤレスとネットワーク|ブルートゥース設定
- 3.デバイスのブルートゥースが「オン」になっていることを確認します。
- 4.見つかったデバイスのリストで、「Netum ブルートゥース」を選択します。[ペアリング]をタップします。
- 5.ブルートゥースがペアリングされた後、スキャナーは長いピープ音を 1 回鳴らし、LED ライトが青色に点灯します（点滅なし）。

### Apple: Apple iOS デバイスを接続します (HID)

- 1.スキャナーの電源を入れます。青色の LED ライトが点滅し始めます。
  - 2.ブルートゥースデバイスの検索を開始します。
- iOS: [設定][設定]をタップします 一般|ブルートゥース。オンにする。ブルートゥースデバイスの検索が開始されます。
- 3.デバイスリストで、「Netum ブルートゥース」をタップします。[ペアリング]をタップします。
  - 4.スキャナーが接続されると、ピープ音が 1 回鳴り、LED ライトが青色に点灯し（点滅なし）、スキャンの準備が整います。

### Windows: WindowsPCを接続します(HID)

- 1.スキャナーの電源を入れます。スキャナーが検出可能（ペアリングされていない）であることを確認してください。
- 2.コンピューターのブルートゥース設定を使用してスキャナーに接続します。
- 3.[デバイスとプリンター]を開き、[デバイスの追加]を選択します。
- 4.デバイスリストで、「Netum ブルートゥース」を選択します。[次へ]をクリックします。
- 5.残りの画面に従って、ウィザードを完了します。
- 6.スキャナーが接続されると、ピープ音が 1 回鳴り、LED ライトが青色に点灯し（点滅なし）、スキャンの準備が整います。

## ブルートゥースキーボードのアップロード速度



高速



中速





低速

### 重要な注意点:

**デフォルトのアイドル時間:** デバイスが 1 分以内に接続されない場合、スキャナーは自動的に電源がオフになります。

### ブルートゥースのペアリングを解除: :

以前のデバイスからブルートゥースを完全にペアリング解除するには、以下の 2 つの手順を実行します。

1. スキャンブルートゥース HID のペアリングを解除し、スキャナーを現在のデバイスから切断し、他のデバイスがペアリングされるのを待ちます。
2. 以前のデバイスから「Netum ブルートゥース」を削除または無視します。



ブルートゥースのペアリングを解除

### BLE モード

Apple デバイスの場合（このモードで動作するにはソフトウェアが必要でした）



BLE モード

### SPP モード

Windows または Android の場合（このモードで動作するにはソフトウェアが必要でした）



SPP モード

### 重要な注意点:

HID から SPP または BLE に移行する場合は、対応するコマンドバーコードをスキャンするだけです。SPP または BLE から HID モードに移行する場合は、「Netum ブルートゥース」を無視（または削除）してください→ブルートゥースをオフにします→HID のコマンドバーコードをスキャンします→ブルートゥースを開きます→修復します。

### IOS キーボードポップアップ/非表示

スキャン中、コマンドバーコードの下をスキャンすることで IOS キーボードを非表示またはポップアップできます。



IOS キーボードポップアップ/非表示

スキャンモード:

**\*トリガーモード(デフォルト)**

このバーコードをスキャンすると、スキャナーは手動トリガーモードに入ることができます。



トリガーモード

**自動検知モード**

このバーコードをスキャンすると、スキャナーは自動検知モードに入ることができます。



自動検知モード

**連続モード**

このモードでは、エンジンがスキャン/キャプチャ、デコード、および送信を何度も繰り返すことができます。



連続モード

**キーボード言語**

たとえば、フランス語キーボードを使用している場合は、「フランス語キーボード」のコマンドバーコードをスキャンします。USキーボードを使用している場合は、この手順を無視できます。



\* アメリカENキーボード



日本語キーボード言語



ドイツ キーボード



イタリア キーボード



ポルトガル語キーボード



スペイン キーボード



トルコQキーボード



トルコFキーボード



UK キーボード



チェコ キーボード



ハンガリー キーボード



ベルギーFRキーボード



ブラジルPTキーボード



カナダのFRキーボード



クロアチアキーボード



スロバキア語キーボード



デンマーク キーボード



フィンランド キーボード



ラテンアメリカESキーボード



オランダ キーボード



ノルウェー キーボード



ポーランド キーボード



セルビア語キーボード



スロベニアキーボード



スウェーデン キーボード



スイスDEキーボード



フランス語 キーボード

### データアップロードモード

ブルートゥース信号範囲外にある作業領域に向かっている場合は、以下に説明する手順に従って、スキャナーのストアモードをアクティブにすることができます。このモードでは、スキャンされたすべてのデータがデバイスのバッファメモリに直接保存されます。さらに、データエントリは、作業ステーションに手動でアップロードする前にバッファメモリに永続的に保存されるため、作業デバイスの近くにいるときにアップロードできます。

### オフラインモードを終了する

次のバーコードをスキャンすると、デバイスはオフラインモードを終了し、通常モードが再初期化されます。



\*オフラインモードを終了する

## オフラインモード

以下のバーコードをスキャンすることにより、オフラインモードが有効になります。



オフラインモード

## 保存されたデータを出力する

次のバーコードをスキャンすることにより、作業ステーションに再接続した後、バッファメモリ内のすべてのデータエントリを手動でアップロードできます。



保存されたデータを出力する

## 出力合計エントリ

次のバーコードをスキャンすることにより、アップロードされたデータエントリの総量が要約されます。



出力合計エントリ

## メモリをクリア

次のバーコードをスキャンすると、バッファメモリ内のすべてのデータが削除されます。



メモリをクリア

## バッテリー容量を取得する

以下のコマンドバーコードをスキャンして、バッテリーの大まかなボリュームを取得します。



バッテリー容量を取得する

## アイドルタイム

スキャナーは、1分間アイドル/非アクティブになるとスリープ状態になります。

このセクションから他のセットアップを行う前に、「モジュールのアイドル時間を無効にする」をスキャンしてください。



電源を切る



スリープモードを無効にする



SRF#ST01

30S



SRF#ST08

3Mins



SRF#ST20

10Mins



SRF#ST60

30Min

## ケースを変換



\* 変換ケースを無効にする



ローケーススワップアップ (A<->a)



すべて大文字 (a->A)



すべて小文字 (A->a)

**注:** 作業モードセクションのコマンドバーコードは、ブルートゥースワイヤレスモードにのみ適用されます。

## ターミネーター

スキャナーは、終了文字のサフィックスを CR または CRLF に設定し、以下の適切なバーコードをスキャンして有効にするためのショートカットを提供します。



3030050

なし



3030051

CR&LF \*



CR



TAB

## ブザー

スキャナーを有効/無効にして、スキャンが成功したことを示すビープ音を鳴らします。



ビープ音をオフ



\*大音量



中音量



低音量

## 送信コード ID 文字

コード ID 文字は、スキャンされたバーコードのコードタイプを識別します。これは、複数のコードタイプをデコードする場合に役立ちます。コード ID 文字は、プレフィックス文字（選択されている場合）とデコードされたシンボルの間に挿入されます。



シンボルコード ID 文字コード ID





\*なし

### シンボルコード ID 識別子

A=	UPC-A, UPC-E, EAN-8, EAN-13	J=	MSI, MSI/Plessey
B=	Code 39, Code 32	K=	GS1-DataBar, /UCC/EAN-128
C=	Codabar	L=	Bookland EAN, Bookland EAN/ISBN
D=	Code 128, ISBT 128	M=	Trioptic Code 39
E=	Code 93	N=	Coupon Code
F=	Interleaved 2 of 5	R=	GS1 DataBar-14, GS1 DataBar Limited, GS1 DataBar Expanded, RSS
G=	Discrete 2 of 5	S=	SETUP128
H=	CODE11		

r=	PDF417	x=	Maxi Code
u=	DataMatrix(DM)	v=	Veri Code
q=	QR	c=	HanXin
a=	Aztec Code		

### AIM コード識別子

各AIMコード識別子には、3文字の文字列]cmが含まれています。

] = フラグ文字

c = コード文字 (表4-4を参照)

m = 修飾子文字

表4-4

A	Code 39, Code 39 Full ASCII, Code 32	S	Discrete 2 of 5, IATA 2 of 5
C	Code 128, ISBT 128, GS1-128, Coupon (Code 128 portion), Setup128	X	Code 39 Trioptic, Bookland EAN, Han Xin
E	UPC/EAN, Coupon (UPC portion)	e	GS1 DataBar
F	Codabar	L	PDF417
G	Code 93	d	Data Matrix(DM)
H	Code 11	Q	QR
I	Interleaved 2 of 5	z	Aztec Code

### すべてのシンボル体系

すべてのシンボル体系を有効/無効にする

すべてのシンボルを無効にする機能が有効になっている場合、スキャナーはプログラミングバーコード以外の非プログラミングバーコードを読み取ることができません。





すべてのシンボルを無効にする



すべてのシンボル体系を有効にする

## 1D シンボル体系

1D シンボル体系の有効化/無効化

**1D シンボルの無効化機能が有効になっている場合、スキャナーは 1D バーコードを読み取ることができません。**



1D シンボル体系を無効にする



1D シンボル体系を有効にする

## 2D シンボル体系

2D シンボル体系の有効化/無効化

**2D シンボルの無効化機能が有効になっている場合、スキャナーは 2D バーコードを読み取ることができません。**



2D シンボル体系を無効にする



2D シンボル体系を有効にする

### 1D 逆バーコード

通常のバーコード：明るい背景に暗い画像。

逆バーコード：暗い背景に明るい画像。



\* 1D リバースバーコードの読み取りを無効にする



1D リバースバーコードの読み取りを有効にする

### UPC/EAN サプリメント UPC/EAN のデコード

補足は、特定のフォーマット規則（UPCA+2、UPCE+2、EAN 13+2、EAN 13+5 など）に従って追加されたバーコードです。次のオプションを使用できます。



\*補足で UPC/EAN を無視する



補足で UPC/EAN をデコードする



UPC/EAN 補足を自動識別

## UPC-A

### UPC-A を有効/無効にする

UPC-A を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*UPC-A 有効にする



UPC-A 無効にする

### プリアンブル文字を送信する

プリアンブル文字（国コードとシステム文字）は、UPC-A の一部として送信できます  
バーコード。UPC-A プリアンブルをホストデバイスに送信するには、次のいずれかのオプションを  
選択します。

システム文字のみ、またはシステム文字と国コードを送信します（米国の場合は「0」）。



システム文字なし



システム文字と国コード



\* システムキャラクター

### UPC-A 送信チェック文字



\* UPC-Aチェック文字を送信する



UPC-Aチェック文字を送信しない

### UPC-A アドオンコード

UPC-A バーコードは、2桁または5桁のアドオンコードで拡張して、新しいバーコードを形成できます。

**2桁のアドオンコードを有効にする/5桁のアドオンコードを有効にする:** スキャナーは、2桁/5桁のアドオンコードがある場合とない場合のUPC-Aバーコードの組み合わせをデコードします。

**2桁のアドオンコードを無効にする/5桁のアドオンコードを無効にする:** エンジン はUPC-Aをデコードし、UPC-Aとアドオンバーコードが提示された場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしでUPC-Aバーコードをデコードできます。



2桁のアドオンコードを有効にする



\*2桁のアドオンコードを無効にする



5桁のアドオンコードを有効にする



\*5桁のアドオンコードを無効にする

### UPC-A アドオンコードが必要

UPC-A アドオンコードが必要な場合、スキャナーはアドオンコードを含む UPC-A バーコードのみを

読み取ります。



UPC-A アドオンコードが必要



\* UPC-アドオンコードは不要

## UPC-E

### UPC-E を有効/無効にする

UPC-E を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*UPC-E 有効にする



UPC-E 無効にする

### プリアンブル文字を送信する

プリアンブル文字（国コードおよびシステム文字）は、UPC-E の一部として送信できます。

バーコード。UPC-E プリアンブルをホストデバイスに送信するには、次のいずれかのオプションを選択します。

システム文字のみ、またはシステム文字と国コードを送信します（米国の場合は「0」）。



システム文字なし



**UPC-E チェック文字を送信する**



\* UPC-E チェック文字を送信する

UPC-E チェック文字を送信しない

**UPC-E を UPC-A に変換する**



UPC-E を UPC-A に変換する

\*UPC-E を UPC-A に変換しない

**UPC-E アドオンコード**

UPC-E バーコードは、2桁または5桁のアドオンコードで拡張して、新しいバーコードを形成できます。

**2桁のアドオンコードを有効にする/5桁のアドオンコードを有効にする:** スキャナーは、2桁/5桁のアドオンコードがある場合とない場合のUPC-Eバーコードの組み合わせをデコードします。

**2桁のアドオンコードを無効にする/5桁のアドオンコードを無効にする:** スキャナーはUPC-Eをデコードし、UPC-Eとアドオンバーコードが提示された場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしでUPC-Eバーコードをデコードすることもできます。



2桁のアドオンコードを有効にする

\*2桁のアドオンコードを無効にする



5桁のアドオンコードを有効にする

\*5桁のアドオンコードを無効にする

**UPC-E アドオンコードが必要**

UPC-Eアドオンコードが必要な場合、スキャナーはアドオンコードを含むUPC-Eバーコードのみを読み取ります。



UPC-E アドオンコードが必要



\* UPC-E アドオンコードが不要

## EAN-8

### EAN-8 有効化/無効化

EAN-8 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*EAN-8 有効化



EAN-8 無効化

### EAN-8 拡張

EAN-8ゼロ拡張を無効にする: EAN-8バーコードをそのまま送信します。

EAN-8 ゼロ拡張を有効にする: EAN-8 バーコードをデコードして 13 桁に拡張するには、先行ゼロを 5 つ追加します。



EAN-8 ゼロ拡張を有効にする



\*EAN-8 ゼロ拡張を無効にする

### EAN-8 アドオンコード

EAN-8 バーコードは、2桁または5桁のアドオンコードで拡張して、新しいバーコードを形成できます。

**2桁のアドオンコードを有効にする/5桁のアドオンコードを有効にする:**T=スキャナーは、2桁/5桁のアドオンコードがある場合とない場合のEAN-8バーコードの組み合わせをデコードします。

**2桁のアドオンコードを無効にする/5桁のアドオンコードを無効にする:**スキャナーはEAN-8をデコードし、EAN-8とアドオンバーコードが提示された場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしでEAN-8バーコードをデコードできます。



2桁のアドオンコードを有効にする



\*2桁のアドオンコードを無効にする



5桁のアドオンコードを有効にする



\*5桁のアドオンコードを無効にする

### **EAN-8 アドオンコードが必要**

**EAN-8アドオンコードが必要な場合**、スキャナーはアドオンコードを含むEAN-8バーコードのみを読み取ります。



EAN-8 アドオンコードが必要



\*EAN-8 アドオンコードが不要

### **EAN-8 チェック文字を送信する**



\*EAN-8 チェック文字を送信する



EAN-8 チェック文字を送信しない

### **EAN-13**



## EAN-13 有効化/無効化

EAN-13 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*EAN-13 有効化



EAN-13 無効化

## EAN-13 アドオンコード

EAN-13 バーコードは、2桁または5桁のアドオンコードで拡張して、新しいバーコードを形成できます。

**2桁のアドオンコードを有効にする/5桁のアドオンコードを有効にする:** T=スキャナーは、2桁/5桁のアドオンコードがある場合とない場合のEAN-13バーコードの組み合わせをデコードします。

**2桁のアドオンコードを無効にする/5桁のアドオンコードを無効にする:** スキャナーはEAN-13をデコードし、EAN-13とアドオンバーコードが提示された場合はアドオンコードを無視します。また、アドオンコードなしでEAN-13バーコードをデコードできます。



2桁のアドオンコードを有効にする



\*2桁のアドオンコードを無効にする



5桁のアドオンコードを有効にする



\*5桁のアドオンコードを無効にする

## EAN-13 アドオンコードが必要

EAN-13アドオンコードが必要な場合、スキャナーはアドオンコードを含むEAN-13バーコードのみを

読み取ります。



EAN-13アドオンコードが必要



\*EAN-13アドオンコードは必要ありません

### EAN-13 チェック文字を送信する



\* EAN-13 チェック文字を送信する



チェック文字を送信しない

### ブックランド EAN(ISBN)

#### EAN(ISBN)有効化/無効化

ブックランド EAN を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



ブックランド EAN を有効にする



\*ブックランド EAN を無効にする

### ブックランド ISBN

#### ISBN 有効化/無効化

ブックランド ISBN を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



\*ブックランド ISBN-10



ブックランド ISBN-13

## コード 128

### コード 128 有効化/無効化

Code 128 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*Code 128 有効化



Code 128 無効化

### Code128 チェック文字を送信する



Code128 チェック文字を送信



\* Code128 チェック文字を送信しない

## GS1-128 (UCC/EAN-128)

## GS1-128 (UCC/EAN-128)有効化/無効化

GS1-128 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*GS1-128 有効化



GS1-128 無効化

## GS1-128 チェック文字を送信する



GS1-128 チェック文字を送信



\* GS1-128 チェック文字を送信しない

## ISBT 128

### ISBT 128 有効化/無効化

ISBT 128 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*ISBT 128 有効化



ISBT 128 無効化

## コード 39

### コード 39 有効化/無効化

Code 39 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*コード 39 有効化



コード 39 無効化

### コード 39 の長さ範囲を設定する

コードの長さは、コードに含まれるチェックディジットを含む文字数（つまり、人間が読める文字）を指します。Code 39 の長さは、任意の長さ、1 つまたは 2 つの個別の長さ、または特定の範囲内の長さに設定できます。

ノート長さを設定するときは、1桁の数字の前に常に先行ゼロを付ける必要があります。

#### 1 つの個別の長さ

このオプションは、選択した長さを含む Code39 シンボルのみにデコードを制限します。長さは、付録の数値バーコードから選択されます。たとえば、14 文字のコード 39 シンボルのみをデコードするには、コード 39 をスキャンします-1 つの個別の長さ、次に 1 をスキャンしてから 4 をスキャンします。選択を変更するか、誤ったエントリをキャンセルするには、付録の cancel をスキャンしません。



コード 39-1 つの個別の長さ

#### 2 つの個別の長さ

このオプションは、選択した 2 つの長さのいずれかを含むコード 39 シンボルのみにデコードを制限します。長さは、付録の数値バーコードから選択されます。たとえば、2 文字または 14 文字を含むコード 39 シンボルのみをデコードするには、コード 39-2 つの個別の長さを選択し、0、2、1、4 の順にスキャンします。選択を変更したり、間違っただエントリをキャンセルしたりするには、付録の Cancel をスキャンしてください。



### 範囲内の長さ

このオプションは、デコードを指定された範囲内のコード 39 シンボルのみに制限します。たとえば、4～12 文字を含むコード 39 シンボルをデコードするには、最初に**コード 39-範囲内の長さ**をスキャンします。次に、付録の**数値バーコード**に従って **0、4、1**、および **2** をスキャンします。選択を変更したり、間違っただエンタリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



コード 39-範囲内の長さ

### 任意の長さ

このオプションをスキャンして、任意の数の文字を含むコード 39 シンボルをデコードします。



コード 39 - 任意の長さ

### コード 39 チェックディジット検証

この機能を有効にすると、スキャンエンジンはすべてのコード 39 シンボルの整合性をチェックして、データが指定されたチェックディジットアルゴリズムに準拠していることを確認します。モジュール 43 チェックディジットを含むコード 39 シンボルのみがデコードされます。コード 39 シンボルにモジュール 43 チェックディジットが含まれている場合にのみ、この機能を有効にしてください。



コード 39 チェックディジットを確認



\*コード 39 チェックディジットを確認しない

## 送信コード 39 チェックディジット

この記号をスキャンして、データとともにチェックディジットを送信します。



送信コード 39 チェックディジット (有効)

この記号をスキャンして、チェックディジットなしでデータを送信します。



\*コード 39 チェックディジットを送信しない

## コード 39 フル ASCII 有効化/無効化

コード 39 Full ASCII は、コード 39 の変形であり、文字をペアにして完全な ASCII 文字セットをエンコードします。



コード 39 フル ASCII 有効化



\*コード 39 フル ASCII 無効化

ノート Trioptic コード 39 とコード 39 フル ASCII を同時に有効にすることはできません。コード 39 フル ASCII を有効にしたときにエラービープ音が鳴った場合は、Trioptic コード 39 を無効にして再試行してください。

## コード 39 送信スタート/ストップ文字



## コード 32

### コード 32 有効化/無効化

コード 32は、イタリアの製菓業界で使用されているコード39の変形です。以下の適切なバーコードをスキャンして、コード32を有効または無効にします。このパラメータを機能させるには、コード 39を有効にし、コード39チェック文字の検証を無効にする必要があります。



\*コード 32 無効化



コード 32 有効化

### コード 32 プレフィックス

以下の適切なバーコードをスキャンして、すべてのコード 32 バーコードへのプレフィックス文字「A」の追加を有効または無効にします。このパラメータを機能させるには、コード 32 を有効にする必要があります。



\*コード 32 プレフィックス無効化



コード 32 プレフィックス有効化

## コード 93

### コード 93 有効化/無効化

コード 93 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



コード 93 有効化



\*コード 93 無効化

### コード 93 の長さを設定する

コードの長さは、コードに含まれるチェックディジットを含む文字数（つまり、人間が読める文



字)を指します。コード93の長さは、任意の長さ、1つまたは2つの個別の長さ、または特定の範囲内の長さに設定できます。

### 1つの個別の長さ

選択した長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、コード93 1つの個別の長さを選択し、次に1、4をスキャンして、デコードを14文字を含むCode93シンボルのみに制限します。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録のCancelをスキャンしてください。



コード93-1つの個別の長さ

### 2つの個別の長さ

選択した2つの長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、コード93を2つの個別の長さで選択し、0、2、1、4をスキャンして、デコードを2文字または14文字を含むコード93シンボルのみに制限します。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録のCancelをスキャンしてください。



コード93 - 2つの不連続長

### 範囲内の長さ

このオプションは、指定された範囲内のコードタイプをデコードするようにユニットを設定します。たとえば、4~12文字を含むコード93シンボルをデコードするには、最初にコード93範囲内の長さをスキャンし、次に0、4、1、2をスキャンします(1桁の数字の前には常に先行ゼロを付ける必要があります)。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録のCancelをスキャンしてください。



コード93-範囲内の長さ

### 任意の長さ

このオプションをスキャンして、任意の数の文字を含むコード 93 シンボルをデコードします。



コード 93 - 任意の長さ

### コード 93 チェックディジット検証



\*コード 93 チェックディジットを確認



コード 93 チェックディジットを確認しない

### 送信コード 93 チェックディジット



送信コード 93 チェックディジット (有効)



\*コード 93 チェックディジットを送信しない

### コード 11

#### コード 11 有効化/無効化

コード 11 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



## コード 11 有効化



\*コード 11 無効化

### コード 11 の長さを設定する

コードの長さは、コードに含まれるチェックディジットを含む文字数（つまり、人間が読める文字）を指します。コード 11 の長さを任意の長さ、1 つまたは 2 つの個別の長さ、または特定の範囲内の長さに設定します。

#### 1 つの個別の長さ

選択した長さを含むコード 11 シンボルのみをデコードするには、このオプションを選択します。付録の数値バーコードを使用して長さを選択します。たとえば、14 文字のコード 11 シンボルのみをデコードするには、コード 11-1 つの個別の長さをスキャンし、次に 1 をスキャンしてから 4 をスキャンします。エラーを修正するか、選択を変更するには、付録の *Cancel* をスキャンします。



コード11 - 1つのディスクリート長

#### 2 つの個別の長さ

選択した 2 つの長さのいずれかを含むコード 11 シンボルのみをデコードするには、このオプションを選択します。付録の数値バーコードを使用して長さを選択します。たとえば、2 文字または 14 文字を含むコード 11 シンボルのみをデコードするには、コード 11-2 つの個別の長さを選択し、0、2、1、4 の順にスキャンします。エラーを修正したり、選択を変更したりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



コード 11-2 つの個別の長さ

#### 範囲内の長さ

特定の長さ範囲のコード 11 シンボルのみをデコードするには、このオプションを選択します。付録の数値バーコードを使用して長さを選択します。たとえば、4~12 文字を含むコード 11 シンボルのみをデコードするには、最初にコード 11-範囲内の長さをスキャンします。次に、0、4、1、および 2 をスキャンします（1桁の数字の前には常に先行ゼロを付ける必要があります）。エラーを修正したり、選択を変更したりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



コード 11-範囲内の長さ

### 任意の長さ

このオプションをスキャンして、スキャンエンジン機能内の任意の数の文字を含むコード 11 シンボルをデコードします。



コード 11 - 任意の長さ

### コード 11 チェックディジット検証

この機能により、スキャンエンジンはすべてのコード 11 シンボルの整合性をチェックして、データが指定されたチェックディジットアルゴリズムに準拠していることを確認できます。これにより、デコードされたコード 11 バーコードのチェックディジットメカニズムが選択されます。オプションは、1つのチェックディジットをチェックするか、2つのチェックディジットをチェックするか、または機能を無効にすることです。



\* コード 11 チェックディジット検証を無効化



1つのチェックディジットを有効化



2つのチェックディジットを有効化

### 送信コード 11 チェックディジット



## 送信コード 11 チェックディジット(s) (有効)



\*コード 11 チェックディジットを送信しない(s) (無効)

### 交差した 2 桁または 5 桁/ITF

### 交差した 2 桁または 5 桁有効化/無効化

交差した 2 桁または 5 桁の数字を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*交差した 2 桁または 5 桁有効化



交差した 2 桁または 5 桁無効化

### 交差した 2 桁または 5 桁の長さを設定する

コードの長さは、コードに含まれるチェックディジットを含む文字数（つまり、人間が読める文字）を指します。12 桁または 5 桁の長さは、任意の長さ、1 つまたは 2 つの個別の長さ、または特定の範囲内の長さに設定できます。

#### 1 つの個別の長さ

選択した長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、**1 つの個別の長さ**の 12 桁または 5 桁を選択し、次に **1**、**4** をスキャンして、14 文字を含む 5 つのシンボルの D2 のみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違っただエンタリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



12 または 5-1 つの個別の長さ

#### 2 つの個別の長さ

選択した 2 つの長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえ

ば、**12桁または5桁の個別の長さ**の12を選択し、**0、6、1、4**をスキャンして、6または14文字を含む5つのシンボルの12のみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



12 または 5-2 つの個別の長さ

### 範囲内の長さ

指定した範囲内のコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、4~12文字を含む12または5シンボルをデコードするには、最初に範囲内の**12桁または5桁の個別の長さ**をスキャンし、次に**0、4、1、および2**をスキャンします（1桁の数字の前には常に先行ゼロを付ける必要があります）。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



12 または 5 - 範囲内の長さ

### 任意の長さ

このオプションをスキャンして、任意の数の文字を含む12または5シンボルをデコードします。  
ノートこのオプションを選択すると、12 または 5 コードのデコードが誤って発生する可能性があります。



12 of 5 - 任意の長さ

### 12 of 5 チェックディジット検証



12of5 チェックディジットを確認



\*12of5 チェックディジットを確認しない

## 12 of 5 チェックディジットを送信



12 of 5 チェックディジットを送信(有効)



\*12of5 チェックディジットを送信しない

## ITF14

### ITF14 有効化/無効化

ITF14 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



ITF14 有効化



\*ITF14 無効化

### ITF14 チェックディジットを送信する



ITF14 チェックディジットを送信する (有効化)



\*ITF14 チェックディジットを送信しない

## 離散 2 of 5/インダストリアル 2 of 5/IND25

### 離散 2 of 5 有効化/無効化

離散 2 of 5 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



離散 2 of 5 有効化



\*離散 2 of 5 無効化

### ディスクリート 2/5 の長さを設定

コードの長さは、コードに含まれるチェックディジットを含む文字数（つまり、人間が読める文字）を指します。D 2 of 5 の長さは、任意の長さ、1 つまたは 2 つの個別の長さ、または特定の範囲内の長さに設定できます。

#### 1 つの個別の長さ

選択した長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、**D 2 of 5 の 1 つの離散長**を選択し、次に **1、4** をスキャンして、**14** 文字を含む **5** のシンボルの **D2** のみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違っただエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



D 2 of 5 - 1 つの個別の長さ

#### 2 つの個別の長さ

選択した 2 つの長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、**D 2 of 5 の 1 つの離散長**を選択し、**0、2、1、4** をスキャンして、**2** または **14** 文字を含む **5** つのシンボルの



D2のみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



D 2 of 5 - 2 つの個別の長さ

### 範囲内の長さ

指定した範囲内のコードをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、4~12文字を含む D 2 of 5 シンボルをデコードするには、最初に範囲内の 5 の長さの D 2 をスキャンし、次に 0、4、1、および 2 をスキャンします（1桁の数字の前に先行ゼロを付ける必要があります）。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



D 2 of 5 - 範囲内の長さ

### 任意の長さ

このオプションをスキャンして、任意の数の文字を含む5つのシンボルのD2をデコードします。

ノート このオプションを選択すると、D 2 of 5 コードのデコードが誤って行われる可能性があります。



D 2 of 5 - 任意の長さ

### ディスクリット 2of5 チェックディジット 検証



D 2 of 5 チェックディジットを確認



\*D 2 of 5 チェックディジットを確認しない

## ディスクリート 2/5 チェックディジットを送信



D 2of5 チェックディジットを送信する (有効)



\*D 2of5 チェックディジットを送信しない

## マトリックス 25

### マトリックス 25 有効化/無効化

マトリックス 25 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



マトリックス 25 有効化



\*マトリックス 25 無効化

### マトリックス 25 チェックディジット検証



マトリックス 25 チェックディジットを確認



\*マトリックス 25 チェックディジットを確認しない

### マトリックス 25 チェックディジットを送信



マトリックス 25 チェックディジットを送信 (有効)



\*マトリックス 25 チェックディジットを送信しない

### マトリックス 25 の長さを設定する

コードの長さは、コードに含まれるチェックディジットを含む文字数（つまり、人間が読める文字）を指します。マトリックス 25 の長さは、任意の長さ、1 つまたは 2 つの個別の長さ、または特定の範囲内の長さに設定できます。

#### 1 つの個別の長さ

選択した長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、1 つの離散長のマトリックス 25 を選択し、1、4 をスキャンして、14 文字を含むマトリックス 25 シンボルのみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



マトリックス 25 - 1 つの個別の長さ

#### 2 つの個別の長さ

選択した 2 つの長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえ

ば、**2つの離散長のマトリックス 25**を選択し、**0、2、1、4**をスキャンして、2文字または14文字を含むマトリックス 25 シンボルのみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



マトリックス 25 - 2つの個別の長さ

### 範囲内の長さ

指定した範囲内のコードをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、4~12文字を含むマトリックス 25 シンボルをデコードするには、最初に**範囲内のマトリックス 25の長さ**をスキャンしてから、**0、4、1**、および**2**をスキャンします（1桁の数字の前に先行ゼロを付ける必要があります）。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



マトリックス 25 - 範囲内の長さ

### 任意の長さ

このオプションをスキャンして、任意の数の文字を含むマトリックス 25 シンボルをデコードします。

ノート このオプションを選択すると、マトリックス 25 コードのデコードが誤って行われる可能性があります。



マトリックス 25 - 任意の長さ

### 標準 25/IATA 25

#### 標準 25 有効化/無効化

標準 25 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*標準 25 無効化



標準 25 有効化

### 標準 25 チェックディジット検証



\*標準 25 チェックディジット検証無効化



標準 25 チェックディジット検証有効化

### 標準 25 送信チェック文字



\*標準 25 送信チェック文字を無効化



## 標準 25 送信チェック文字を有効化

### 標準 25 の長さを設定

コードの長さは、コードに含まれるチェックディジットを含む文字数（つまり、人間が読める文字）を指します。標準 25 の長さは、任意の長さ、1 つまたは 2 つの個別の長さ、または特定の範囲内の長さに設定できます。

#### 1 つの個別の長さ

選択した長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、**標準 25 の 1 つの離散長**を選択し、**1、4** をスキャンして、14 文字を含む標準 25 のシンボルのみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



標準 25-1 つの個別の長さ

#### 2 つの個別の長さ

選択した 2 つの長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、**標準 25 の 2 つの個別の長さ**を選択し、**0、2、1、4** をスキャンして、2 または 14 文字を含む標準 25 のシンボルのみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



標準 25-2 つの個別の長さ

#### 範囲内の長さ

指定した範囲内のコードをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、4~12 文字を含む標準 25 記号をデコードするには、最初に**範囲内の標準 25 長**をスキャンしてから、**0、4、1、および 2** をスキャンします（1 桁の数字の前に先行ゼロを付ける必要があります）。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



標準 25-範囲内の長さ

### 任意の長さ

このオプションをスキャンして、任意の数の文字を含む標準25シンボルをデコードします。  
ノート このオプションを選択すると、標準 25 コードのデコードが誤って行われる可能性があります。



標準 25-任意の長さ

### Codabar

#### Codabar 有効化/無効化

Codabar を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



Codabar 有効化



\*Codabar 無効化

### Codabar の長さを設定する

コードの長さは、コードに含まれるチェックディジットを含む文字数（つまり、人間が読める文字）を指します。Codabar の長さは、任意の長さ、1 つまたは 2 つの個別の長さ、または特定の範囲内の長さに設定できます。

#### 1 つの個別の長さ

選択した長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、**1 つの離散長の Codabar** を選択し、**1、4** をスキャンして、**14** 文字を含む Codabar シンボルのみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違っただエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



Codabar - 1つの個別の長さ Codabar

## 2つの個別の長さ

このオプションは、選択した2つの長さを含むコードのみをデコードするようにユニットを設定します。たとえば、**Codabarの2つの個別の長さ**を選択し、**0、2、1、4**をスキャンして、6文字または14文字を含むCodabarシンボルのみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違っただエンタリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



Codabar - 2つの個別の長さ Codabar

## 範囲内の長さ

指定した範囲内のコードをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、4~12文字を含むCodabarシンボルをデコードするには、最初に**範囲内のCodabarの長さ**をスキャンし、次に**0、4、1、および2**をスキャンします（1桁の数字の前には常に先行ゼロを付ける必要があります）。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違っただエンタリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



Codabar - 範囲内の長さ Codabar -

## 任意の長さ

このオプションをスキャンして、任意の数の文字を含むCodabarシンボルをデコードします。



Codabar - 任意の長さ Codabar

## Codabar チェックディジット 検証





\*Codabar チェックディジット検証無効化



Codabar チェックディジット検証有効化

### Codabar チェック文字を送信する



\*Codabar チェック文字を送信する無効化



Codabar チェック文字を送信する有効化

### 文字フォーマット開始/停止

以下の適切なバーコードをスキャンすることにより、希望の開始/停止文字フォーマットを選択できます。



\*スタート/ストップキャラクターとしての ABCD/ABCD



開始/停止文字としての ABCD/TN \* E



\*大文字の開始/停止文字



小文字の開始/停止文字

## MSI

### MSI 有効化/無効化

MSI を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



MSI 有効化



\*MSI 無効化

### MSI の長さを設定する

コードの長さは、コードに含まれる文字（つまり、人間が読める文字）の数を指し、チェックディジットを含みます。MSI の長さは、任意の長さ、1 つまたは 2 つの個別の長さ、または特定の範囲内の長さに設定できます。

#### 1 つの個別の長さ

選択した長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、MSI Plessey を 1 つの離散長として選択し、1、4 をスキャンして、14 文字を含む MSI Plessey シンボルのみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。



MSI - 1 つの個別の長さ

#### 2 つの個別の長さ

選択した 2 つの長さを含むコードのみをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、MSI Plessey の 2 つの個別の長さを選択し、0、6、1、4 をスキャンして、6 文字または 14 文字を含む MSI Plessey シンボルのみをデコードします。数値バーコードは付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



### 範囲内の長さ

指定した範囲内のコードをデコードするには、このオプションを選択します。たとえば、4~12文字を含む MSI シンボルをデコードするには、最初に**範囲内の MSI 長**をスキャンし、次に**0、4、1、および 2**をスキャンします（1桁の数字の前には常に先行ゼロを付ける必要があります）。**数値バーコード**は付録にあります。選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、付録の *Cancel* をスキャンしてください。



MSI - 範囲内の長さ

### 任意の長さ

このオプションをスキャンして、任意の数の文字を含む MSI Plessey シンボルをデコードします。  
ノート このオプションを選択すると、MSI コードのデコードが誤って行われる可能性があります。



MSI - 任意の長さ

### MSI 文字検証を確認する



\* 1つのチェック文字



2つのチェック文字

### MSI チェック文字を送信する



チェック文字を送信する



\* チェック文字を送信しない

## GS1 データバー/RSS

### GS1 データバー-14 有効化/無効化

GS1 データバー-14 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



GS1 データバー-14 有効化



\*GS1 データバー-14 無効化

### GS1 データバー 限定有効化/無効化

GS1 データバー制限を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



GS1 データバー 限定有効化



\*GS1 データバー 限定無効化

### 拡張された GS1 データバーの有効化/無効化

拡張された GS1 データバーを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



拡張された GS1 データバーを有効にする



\*拡張された GS1 データバーを無効にする

## PDF417

### PDF417 有効化/無効化

PDF417 を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



PDF417 無効化



\*PDF417 有効化

### PDF 417 ツインコード

PDF417ツインコードは、垂直または水平に並列化された2つのPDF417バーコードです。どちらも通常のバーコードまたは逆バーコードである必要があります。それらは同様の仕様を持ち、密接に配置されている必要があります。

PDF417ツインコードを読み取るには、次の3つのオプションがあります：

**単一のPDF417のみ：** いずれかのPDF417コードを読み取ります。

**ツインPDF417のみ：** 両方のPDF417コードを読み取ります。

**シングルとツインの両方：** 両方のPDF417コードをお読みください。成功した場合は、ツインPDF417としてのみ送信します。それ以外の場合は、単一のPDF417のみを試してください。



\*単一の PDF417 のみ



ツイン PDF417 のみ



シングルとツインの両方

順相/位相反転を読む



\*正常相を読む



フェーズリバーサを読む！



順相/位相反転を読む

**QR**

順位相/位相反転/鏡像画像を読み取る

**QR 有効/無効**

QR を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



QR コードを無効にする



\*QR コードを有効にする

### QR ツインコード



\*シングル QR のみ



ツイン QR のみ



シングルとツインの両方

### QR ECI 出力の有効化/無効化



\*QR ECI 無効化



QR ECI 有効化

### 順相/位相反転を読む



\*正常相を読む



フェーズ反転を読む



順相/位相反転を読む

## データマトリックス(DM)

通常の画像または鏡像画像をスキャンします。

## データマトリックス(DM)有効化/無効化

データマトリックス(DM)を有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



データマトリックス無効化



\*データマトリックス有効化

## データマトリックスツインコード



\*単一のデータマトリックスのみ



ツインデータマトリックスのみ





シングルとツインの両方

### データマトリックス ECI 出力の有効化/無効化



\*データマトリックス ECI 出力無効化



データマトリックス ECI 出力有効化

### 順相/位相反転を読む



\*正常相を読む



フェーズ反転を読む



順相/位相反転を読む

### マキシコード

## マキシコード有効化/無効化

マキシコードを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



\*マキシコード無効化



マキシコード有効化

## アズテックコード

### アズテックコード有効化/無効化

アズテックコードを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



\*アズテックコード無効化



アズテックコード有効化

## Han Xin コード

### Han Xin コード有効化/無効化

Han Xin コードを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



\*Han Xin コード無効化



Han Xin コード有効化

### Han Xin Twin Code



\*シングル Han Xin のみ



ツイン Han Xin のみ



シングルとツインの両方

### 順相/位相反転を読む



\*正常相を読む



フェーズ反転を読む



順相/位相反転を読む

プレッシー

プレッシー有効化/無効化

プレッシーを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



プレッシー有効化



\*プレッシー無効化

文字検証を確認する



文字検証を有効にする



\* 文字検証を無効にする

チェック文字を送信する



チェック文字を送信する



\* チェック文字を送信しない

## ブラジル銀行コード

### ブラジル銀行コード有効化/無効化

1D バーコードにのみ適用されます。HanXin コードを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンしてください。



ブラジル銀行コード有効化



\* ブラジル銀行コード無効化

## 複合

### 複合 有効化/無効化

プレッシーを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



複合コード 有効化



\* 複合コード 無効化

## EAN/UCC

### EAN/UCC 有効化/無効化

EAN / UCCを有効または無効にするには、以下の適切なバーコードをスキャンします。



EAN/UCCコード有効化



\* EAN/UCCコード無効化

## バーコードをキャンセル

選択を変更したり、間違ったエントリをキャンセルしたりするには、以下のバーコードをスキャンしてください。



キャンセル

## プレフィックスまたはサフィックスの数字を非表示にする

バーコード文字の開始/中間/終了を非表示にすることができます。非表示セットのバーコードの下をスキャンした後、文字の長さを非表示にする 2 桁の 16 進数をスキャンします（00～FF、例：非表示の長さ 4、スキャン 0、4）。



バーコード開始文字を非表示



バーコードミドル文字を非表示開始



バーコードミドル文字を非表示



バーコード終了文字を非表示

## 出力フォーマット

スキャンデータ送信フォーマットを変更するには、目的のフォーマットに対応する8つのバーコードの1つをスキャンします。



バーコードの非表示  
開始文字を有効にする



バーコードミドル文字を  
非表示を有効にする



バーコード終了文字の  
非表示を有効にする

## バーコードの文字を非表示にするには開始/中間/終了： 手順

- 1.バーコードの非表示の開始/中間の開始/中間の長さ/終了文字の記号をスキャンします。
- 2.入力する長さの 16 進値を決定します（4 文字を非表示、0,4 をスキャン、12 文字を非表示、0、C

をスキャン)。

3.数値バーコードから2桁の16進値をスキャンします

4.出力フォーマットをスキャンして、文字の非表示機能を有効またはキャンセルします。

### カスタムプレフィックスとサフィックス

マキシマムデータ編集で使用するためにデータをスキャンするために、20個のプレフィックスと20個のサフィックスを追加できます。これらの値を設定するには、ASCII値に対応する2桁の16進数(つまり、2つのバーコード)をスキャンします。付録の[表1](#)および[数値バーコード](#)を参照してください。

プレフィックスまたはサフィックスを追加するには:

1.「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」のコマンドバーコードをスキャンします。

2.ASCIIチャートからプレフィックスまたはサフィックスの16進値を確認します。

3.数値バーコードから2桁の16進値をスキャンします

4.追加するすべてのプレフィックスまたはサフィックスに対して手順2と3を繰り返します。

5.出力フォーマットをスキャンして、プレフィックス/サフィックス出力を有効または無効にします。



プレフィックスを追加



サフィックスを追加



すべてのプレフィックスをクリア



すべてのサフィックスをクリア

### 数値バーコード





SNO#1



SNO#2



SNO#3



SNO#4



SNO#5



SNO#6



SNO#7



SNO#8



SNO#9



SNO#A





## 出力フォーマット

スキャンデータ送信フォーマットを変更するには、目的のフォーマットに対応する8つのバーコードの1つをスキャンします。



\*デフォルトの出力形式



サフィックス出力を有効にする



プレフィックス出力を有効にする

バーコード「123456789」に通常の接頭辞または接尾辞を追加する方法の例



プレフィックスとして「A」と「B」を追加し、サフィックスとして「!」を追加します。

1. 「プレフィックスの追加」のコマンドバーコードをスキャンします。



2. ASCIIチャートからプレフィックス16進値を確認します。A-"4"、"1"; B-"4" "2";
3. 数値バーコードから2桁の16進値をスキャンします。



4. 出力フォーマットをスキャンして、プレフィックス出力を有効にします。



プレフィックス出力を有効にする

5. 「サフィックスの追加」コマンドバーコードをスキャンして、サフィックスとして「!」を追加します。



サフィックスを追加

6. ASCIIチャートからサフィックスの16進値を確認してください。!-"2" "1"
7. 数値バーコードから2桁の16進値をスキャンします。



8.出力フォーマットをスキャンして、サフィックス出力を有効にします。



サフィックス出力を有効にする

9. バーコードをスキャンすると、**AB123456789**が表示されます。

バーコード「123456789」のコンビネーションキーサフィックスの追加方法の例



「123456789」に「Ctrl+P」を接尾辞として追加

1. 「サフィックスの追加」のコマンドバーコードをスキャンして、「Ctrl+P」をサフィックスとして追加します。



サフィックスを追加する

2. ASCIIチャートからサフィックスの16進値を確認してください。 **Ctrl + P-"9" "7" "5" "0"**

3. 数値バーコードから4桁の16進値をスキャンします。





4. 出力フォーマットをスキャンして、サフィックス出力を有効にします。



サフィックス出力を有効にする

5. 「キーボードCtrlコンビネーションキー」をスキャン

6. バーコード**123456789**をスキャンします。（Excelでテスト）

表 1.ASCII 文字に相当するもの

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl

68H	h	78H	x	88H	F9	98H	*Shirt
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	*Left Alt
6AH	J	7AH	z	8AH	F11	9AH	*Right Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	08H	BS
6CH	l	7CH		8CH	Insert	09H	HT
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	0AH	LF
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up	0DH	CR
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete	1BH	ESC

## サポート

当社製品に関するお問い合わせは、[service@netumscan.com](mailto:service@netumscan.com) までメールでご連絡ください。できるだけ早く対応させていただきます。

## 連絡先

Whatsapp: +86 15800221432

電話.:+0086 20-6626-0708

Email: [service@netumscan.com](mailto:service@netumscan.com)

アドレス.: Jingzheng Science and Technology Park, No. 51, Xiangshan Avenue, Zengcheng District, Guangzhou, China/511340

Made in China